

企業の国際化、組織学習に関する研究

研究分野: 多国籍企業論、組織学習、イノベーション

キーワード: 海外子会社マネジメント

貢献できるSDGsの区分:



経営学部 国際経営学科 講師 森内 泰

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/mori-yasu/>

研究概要

- ①企業は顧客や取引先、同業他社、行政等との関係者の中で企業活動をしており、その関係性は企業行動に大きな影響を与えている。これらの影響を定量的に分析することで企業への仕組み導入を促進することができる(企業の国際化、テレワーク導入で実証分析済)。企業支援施策の浸透や、制度の活用促進に関する研究も併せて行っている。
- ②企業が海外に拠点を設ける場合、本社がいかにコントロールするかは重要な課題であるが、どのようなコントロール機能を有することが海外事業全体にとって重要か明らかにされていない。コーポレートガバナンスを含むコントロール機能のあり方と、海外事業の業績を実証分析している。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- ①行政の産業支援施策(DX化や国際化、各種支援施策)の調査・検討、効果的な導入方法に貢献することができる。
- ②企業の国際化(輸出、直接投資、M&A)に必要なコントロール機能/バックオフィス機能の検討に貢献することができる。
- ③各種アンケート調査の設計、分析に協力することができる。

外部との連携実績等

- ①岡山県の産業団体とのテレワーク導入状況調査
- ②佐世保市内の産業団体の実施するDXアンケート調査に関する外部委員
- ③企業向け研修講師(経営戦略、イノベーション講義 各3時間)